



# 放火を防ぐには

放火対策は、『放火されない』『放火させない』『拡大させない』の『3ない』が基本です。

## ポイント

- ① 家のまわりに燃えやすい物を置かない。
- ② 物置、車庫には鍵をかける。
- ③ ごみは収集日に出す。
- ④ 家庭内に消火器などの消火器具を準備する。
- ⑤ 消火器などの使い方を家族全員が知っておく。



## ◆◆◆◆ 可燃物を放置しない・死角をつくらない・暗がりをつくらない ◆◆◆◆

『見られている』という意識を放火犯に持たせましょう。

## あなたの家の安全度チェック

放火は、無差別だから怖い！ 誰でも被害を受ける可能性があります。放火されない様に日ごろから心がけることは、あなたにもできます。あなたの家の、放火に対する安全度（危険度）を診断してみましょう。

### ○環境要因

- ・ 前面道路は近隣者が通行する道路である
- ・ 付近の道路は深夜でも人通りがある
- ・ 建物前面の道路には街路灯が設置されている
- ・ 自宅付近で放火が発生したことはない
- ・ 付近で暴力事件、痴漢などが発生したことはない

はい      いいえ


### ○敷地・建物への進入防止

- ・ 道路に面した車庫や物置には夜間鍵をかけている
- ・ 敷地内に他人が簡単に入りにくくなっている
- ・ 深夜でも玄関に門灯を点けている
- ・ 長期に留守をする際、新聞などを止める事を心掛けている
- ・ 侵入監視センサー、熱線センサー付き照明器具などを設置している


### ○可燃物などの整理

- ・ 建物周りや共用廊下に、新聞や雑誌などを置いていない
- ・ ごみは回収日の時間帯に出すようにしている
- ・ 自転車などのかごに、燃えやすいものを放置しないように心掛けている
- ・ 郵便受けの新聞は早めに取り込んでいる
- ・ 車、バイクなどに防災製品のボディカバーを使用している


### ○火災時の初期対応、家族や近隣との協力

- ・ 住宅用火災警報器や消火器を設置している
- ・ 火災発生時の119番通報について家族や近所の人と話し合ったことがある
- ・ 消火器などの使い方を、家族全員が知っている
- ・ 隣近所と気軽に声を掛け合っている
- ・ 宿泊するときや外出時など、隣近所に声をかけている
- ・ 地域や学校の、火災や地震に対する訓練に参加したことがある


**診断** 各分野で「はい」と思う回答が、3個以下の分野は特に注意が必要です。気を付けてください。